

2025. 2. 19

3年連続！「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」で「金賞(環境大臣賞)」を受賞

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、環境省が ESG 金融のさらなる普及・拡大と質の向上を目的として開催する第6回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において、最高位である「金賞（環境大臣賞）」を受賞しましたので、その概要をご案内します。

なお、今回で3年連続での「金賞」受賞となりました。



<「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」とは>

- ・環境・社会・経済に対してインパクトを与える取り組みを促進する投資家・金融機関、企業などを評価し、広く社会で共用することにより、ESG 金融の普及・拡大とその質の向上を目的として環境省が実施する表彰制度
- ・5 部門(投資家部門・間接金融部門・資金調達者部門・金融サービス部門・環境サステナブル企業部門)が設けられている

静岡銀行が受賞した「間接金融部門」は、ESG 要素の考慮による取引先の価値向上や金融・非金融の取り組みを通じて、産業の競争力強化や地域循環共生圏の構築等に資するポジティブなインパクトを創出している取り組みを表彰するものです。

今回の受賞で、静岡銀行の取り組みが評価された点は以下のとおりです。

- ・地域の連携を一段と進め、GHG 排出量算定ツール「しずおか GX サポート」を県内の全地域金融機関に開放した点は、地域における脱炭素化の進歩に大きく貢献している。
- ・自治体を含め、県内で共創関係を構築し、地域が一体となって脱炭素化に取り組むことで、中小企業の気運を高めている。組織としての定着を図るためサステナブルコンサルタントを育成し、稼働し始めていることは、他の金融機関にとっても人材開発の参考になる。

静岡銀行では、地域との共生をめざすグループ基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、従来からグループ各社と連携し、持続可能な地域社会づくりに資する金融サービスの提供に取り組んできました。

今後も、地域企業、自治体、金融機関、大学、シンクタンクなどと連携を図りながら、「環境」「社会」「経済」において好循環サイクルを生み出すことで、地域の脱炭素化とともに、豊かな地域社会の創造に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。